

第3学年 音楽科

まつさかしりつまつえしょうがっこう
松阪市立松江小学校



【学習目標】

- ・曲想と音楽の構造などとの関わりについて気付くとともに、表したい音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、音楽づくりの技能を身に付けるようにする。
- ・音楽表現を考えて表現に対する思いや意図をもつことや、曲や演奏のよさなどを見いだしながら音楽を味わって聴くことができるようにする。
- ・進んで音楽に関わり、協働して音楽活動をする楽しさを感じながら、様々な音楽に親しむとともに、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにする。

【学習を進めるにあたって】

使用教材		
教科書	「小学生の音楽3」	(教育芸術社)

持ち物		
教科書	タブレット	筆記用具
鍵盤ハーモニカ	リコーダー	

【学習の約束】

- 積極的に発表して、考えを伝え合いましょう。
- 楽器を大切に使いましょう。
- よい姿勢で歌いましょう。
- 学習の用意をわすれないようにしましょう。
- 次の学習の準備をしてから休みましょう。
- チャイムと同時に、授業を始められるようにしましょう。
- 呼ばれたら、大きな声ではっきりと返事をしましょう。
- 席をはなれる時は、いすを入れましょう。

【^{がくしゅうないよう}学習内容】

^{ぜんき} 前期	^{こうき} 後期
1. ^{おんがく} 音楽で ^{こころ} 心をつなげよう 2. ^{うた} 歌って ^{おと} 音の ^{たか} 高さをかんじとろう 3. ^{リコーダー} の ^{した} ひびきに親しもう 4. ^{はく} 拍にのってリズムをかんじとろう 5. ^{せんりつ} の ^{とくちょう} とくちょうをかんじとろう	6. ^{かさ} せんりつの ^{かさ} 重なりをかんじとろう 7. ^{おと} いろいろな ^{した} 音の ^{した} ひびきに親しもう 8. ^{ちいき} につたわる ^{おんがく} 音楽でつながろう 9. ^{おも} 思いを ^{おんがく} 音楽で ^{あらわ} 表そう ※ ^こ 子どもたちの ^{ようす} 様子や ^{しゃかいじょうせい} 社会情勢、 ^た 他の ^{ぎょうじ} 行事との ^{かんけい} 関係で ^{がくしゅう} 学習の ^{じゆんじょ} 順序を ^か 変える ^{ばあい} 場合があります。

【^{ひょうか}評価の^{かんてん}観点および^{ばめん}場面・^{ほうほう}方法】

^{ひょうか} 評価の ^{かんてん} 観点			^{ひょうか} 評価の ^{ばめん} 場面・ ^{ほうほう} 方法
^{ぎのう} 技能・ ^{ちしき} 知識	^{うた} 歌う・ ^{えん} 演奏する	^き 気持ちをこめて ^{うた} 歌ったり、 ^{ただ} 正しい ^{えんそうほう} 演奏法を ^み 身につけたりする。	^{じゅぎょう} 授業の様子 ^{ようす} 歌のテスト ^{けんばん} 鍵盤ハーモニカテスト ^{リコーダー} テスト
・ ^{しこう} 思考・ ^{ひょうげん} 表現 ^{はんだん} 判断	^{くふう} 工夫する・ ^き 聴く	^{ゆた} 豊かな ^{はっそう} 発想をし、 ^{えんそう} 演奏の ^{しかた} 仕方を ^{くふう} 工夫する。 ^{おんがく} 音楽を ^き 聴いて、その ^{うつく} よさや ^{あじ} 美しさを ^{あじ} 味わう。	^{じゅぎょう} 授業の様子 ^{ようす} 発言・ ^{はっげん} 発表 ^{はっぴよう} 鑑賞 ^{かんしやう} 歌のテスト ^{けんばん} 鍵盤ハーモニカテスト ^{リコーダー} テスト ^{ワークシート} ワークシート
^{とり} 取組む ^{しゅたいてき} 主体的に ^{しゅくしゅう} 学習 ^{たいど} 態度	^{たいど} 態度	^{しゅたいてき} 主体的に ^{おんがく} 音楽の ^{がくしゅう} 学習に ^{とく} 取り組む。 ・ ^{がくしゅう} 学習したことや ^{けいけん} 経験したことを ^い 生かして ^{おんがく} 音楽の ^{がくしゅう} 学習に ^{とく} 取り組もうとしている。 ・ ^{すす} 進んで ^{おんがく} 音楽に ^{かか} 関わり、 ^{きやうどう} 協働して ^{おんがく} 音楽活動をする ^{たの} 楽しさを ^{かん} 感じながら、 ^{さまざま} 様々な ^{おんがく} 音楽に ^{した} 親しもうとしている。	^{じゅぎょう} 授業の様子 ^{ようす} 発言・ ^{はっげん} 発表 ^{はっぴよう} ワークシート(ふり ^{かえ} 返し)